

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 28 年 2 月 22 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3491100214		
法人名	株式会社プロケアしまなみ		
事業所名	グループホーム長江		
所在地	広島県尾道市長江二丁目7番8号 (電話) 0848-37-6101		
自己評価作成日	平成28年1月10日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigyosyoCd=3491100214-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成28年2月3日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

ご利用者様の立場になって物事を考え、日々、ご利用者様の生活と心の支えになれるよう努力しています。当たり前のことですが、全ての職員がこの共通の考え方のもとで働いている事です。当施設の理念「みんな笑顔で」に向かって、ご利用者様、ご家族様、職員、地域の方など、関わる全ての方が笑顔になれるよう、向上心を持ち、働いています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

法人母体が医療機関であるこの施設は、1階が小規模多機能ホーム長江、2, 3階がグループホームとなっている。各ユニットに看護師が配置され医療面でも安心である。事業所は、行政（市町・地域包括支援センター・社会福祉協議会）及び地域の町内会との連携が良く図られ、オレンジカフェの実施や地域を巻き込んだ救命救急訓練（AED）、避難訓練、徘徊模擬訓練など実施されて地域貢献がなされている。職員もベテラン職員が多く在籍し、理念の「みんな笑顔で」・「生活能力引き出す支援」・「安心の環境の提供」の実践に向けて、チームワークが良く取れている事業所である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	ホールの分かりやすい位置に、当施設の理念「みんな笑顔で」と書いたポスターを掲示しています。	4つの事業所理念の下、「みんな笑顔で」の標語を施設内に掲示し、職員が絶えず意識してケアサービスを提供している。理念に関しての職員アンケートも実施し、理念の意識付けを行い、実践に繋げるよう努められている。	理念を具体的に策定した年間目標及び目標を実践するための職員の個人目標を設定し、より理念の実践に向けた取り組みを望みます。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	学生の方や地域の方による傾聴ボランティアや演奏会、近所の保育園の園児達と交流会を開く等して、交流を深めています。	町内会にも加入され、地域の行事（運動会）や地域の学校の文化祭へ参加されている。尾道市社会福祉協議会主催の「小地域ネットワーク」のメンバーとして地域の町内会と連携して、事業所1階の小規模多機能ホーム長江を利用した、月に2回のオレンジカフェ実施や火災避難訓練、徘徊模擬訓練など、地域と連携して行われている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	消防訓練や徘徊模擬訓練など、地域の方や、市の職員の方に参加して頂き活動しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議にて、日々の取り組みを報告したり、時には意見を頂く場合もあります。意見を基に一階でのオレンジカフェへの参加や、ゴミ回収への参加など、サービス向上に努めています。	運営推進会議は市町担当者、地域包括支援センター職員、社会福祉協議会、町内会長、利用者が参加され、意見交換がなされている。	運営推進会議に利用者は参加されているが、家族の参加がない。よりサービスの向上を目指すためには、多くの家族が参加し意見を伺うことが重要です。会議の日程及び開催形態を検討され幅広い意見を収集し、サービスの向上への取り組みを期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	集団指導研修にて、第6期の介護計画や、虐待、感染症の防止に向けた取り組みなど、担当者の方にお話を頂きました。	市町担当者及び地域包括支援センター職員が運営推進会議へ参加され、問題点への対応はその都度相談し、密に連携が取られている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束について、勉強会を実施し、禁止行為などを十分に理解し、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。</p>	<p>身体拘束に関する外部研修会へ参加している。又、施設内研修を行うことで禁止行為を充分理解し、ケアに活かせるように努められている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待防止について、勉強会を実施し、職員全員が介護のプロとしての自覚を持ち、日々、虐待防止に努めています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見制度を利用されているご利用者様がいらっしゃることで、対応にあたる職員は、成年後見について勉強するようにしています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時契約を基に、重要事項を説明し、ご利用者様、ご家族の方が不安の無い様、納得のいくまで説明をさせて頂いています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご意見箱を設置し、苦情や要望等、真摯に受け止め、改善に努めています。また、面会に来られた際にも、意見や要望をお聞きしています。</p>	<p>意見箱の設置及び家族の面会時に、意見等を頂くように努められている。</p>	<p>運営推進会議への家族参加及び家族会などの行事を開催して、運営に反映するため、家族が意見を出し易い環境作りへの取組みを期待します。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティングや、朝礼の際に、職員からの意見や提案などを聞いて、必要であるかどうかを全員で検討し、反映するようにしています。	定期的に個人面談を行っている。又、ミーティング等で職員が意見を言い易い環境配慮を行っている。職員から出た意見に関しては、全体会議で検討し、運営に反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	遠方の方、主婦の方、学生の方など、なるべく希望を聞いて勤務を組んでいます。個々の努力、実績を基に給料面でも考えています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	内部研修、外部研修共に、積極的に参加を促し、キャリアアップを図っています。また職員に役割を与え、まずは自らで考え行動することで成長を促進しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	他施設への見学を実施し、情報交換や、勉強会などに参加させて頂き、良いものは自施設に持ち帰り、活かしていくようにしています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	本人の意見を尊重し、対応にあたるようにしています。コミュニケーションをとって段々と距離を縮め、馴染みの関係を作るようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>家族様の不安な事や、困った事などが一つでも少なくなるように支援しています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居前にアセスメントを行い、本人、家族様が必要とされているものを見出して、対応に努めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>グループホームという集団生活の場でもあるので、家族のように生活の一員として関係を築くようにしています。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族様への連絡時や、ご面会に来られた際に、状況をお伝えし、逆に分からない事がある場合には、ご家族にお聞きするなどして関係を築いています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>馴染みの方へは、連絡をして面会に来て頂いたり、関係が途切れぬよう、支援に努めています。中には、手紙のやりとりをされる方もいらっしゃいます。</p>	<p>面会簿を設置し、面会に来られた友人、知人と、いつでも連絡が取れるようになっている。当分来訪がない馴染みの友人知人に連絡を取り、関係が途切れないよう努められている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご利用者様の相性なども考慮して、席の配置を決めています。食事やレクの際など互いに声を掛け合い、孤立のないよう見守っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後も、ご家族様、ご利用者様の要望に応えられる様に、必要時に相談、支援をしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人一人の希望や意向を把握し、常により良い対応とは何かを考えています。困難な場合には、その方にとって何が望ましいのか話し合いをして、対応を見出すようにしています。	日々の生活の中で、利用者の思いや意向を聴き出すように努めている。又、把握が困難な場合は、家族の面会時に情報を収集し、本人の立場で検討し、対応に努められている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	基本情報を基に、ご利用者様、ご家族様から話を聞きだしたり、ご友人の方などから話を聞くなどして、情報収集に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	バイタル、トイレ、食事などの一日の生活の中で、少しの変化でも報告、相談するように心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>カンファレンスなどを行い、意見やアイデアを反映するようにしています。また、主治医やご家族様の意見も参考に、介護計画を作成しています。</p>	<p>利用者の状況変化により、その都度プランの見直しを行っている。家族の面会の際に意見交換を行い、医師、看護師、関係者で担当者会議を開いて、現状に即したプラン作成に努められている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>パソコンのソフトに、記録、申し送りなどを入力しており、職員全員が確認し、把握することで、情報の共有を図っています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご利用者様、ご家族様のニーズに出来るだけお応え出きる様、柔軟な取組みを心がけています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域との関わりを深く持ち、ご利用者様に安心、安全に過ごしていただける様に支援しています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>月二回の往診に加え、必要時の受診対応、定期的な連絡を行い、情報共有をしています。</p>	<p>提携医による、月2回の往診がある。ユニットごとに看護師が常駐しているため、医師との連携が良く取れている。又、かかりつけ医への通院支援も行われており、適切な医療支援が行われている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>バイタルの異常や、薬についてなど、疑問に思った事はすぐに相談し、指示を仰いでいます。また、必要であれば、受診、往診対応をしています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>先生の話をついたり、看護師の方から情報を聞くなどして、ご利用者が安心できるように努めています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>早い段階で、ご本人、ご家族様と話し合いの場を設け、介護職員、看護職員、担当医と協力し、ターミナルケアに取り組んでいます。</p>	<p>早期の段階から、本人、家族と話し合いの場を持ち、終末期の際の対応について説明を行っている。終末期に際して医師、看護師、家族、関係機関と情報を共有し、支援に取り組まれている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>看護職員が中心となって、応急救護などの研修を実施しています。また、マニュアルを整備しているので、日頃から緊急時の対応が、円滑に行えるように働きかけています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>防火管理者を中心に、消防訓練を行っています。地域の方にも協力をお願いし、見守りをして頂きました。</p>	<p>火災避難訓練は、年間二回実施され、地域の方も参加して頂き、利用者の離脱時の見守り保護の役割分担も出来ている。今後、地震等の災害時に、地域の避難場所としての役割を担えるよう、非常食等の備品を備える検討もされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ミーティング、研修、アンケートなどを通して、声掛けの重要性を職員全員が考えて、対応にあたっています。	利用者の誇りやプライバシーを損ねないケアについて、研修や会議で注意を促している。利用者へ声掛け等の言葉使いに細心の注意を払い、対応に努められている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日々の声掛けで「何々しましょう」と声をかけるのではなく、「何々しませんか?」と声をかけ、自己決定が出来るように働きかけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様を第一に考えています。入浴時間など制限する事なく、なるべくその方の思いに合わせるようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎月、当施設にて訪問理美容の方が来られますが、希望される方には、外出にて散髪をしています。その他、買い物時に服を選び購入されたりと、身だしなみ、おしゃれが出来るように支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	行事の際はもちろん、それ以外の時にも、食べたい物の希望があれば、実際に提供しています。クリスマスには一人一人、それぞれケーキを選んでいただきました。その日の状態によっては、食事の用意や片付けなども参加していただいています。	季節に応じて、お好み焼き会をしたり、向島へ外食に出かけている。日常の会話の中で、利用者から「食べたいもの」の希望を聞き取り、メニューに活かせるよう努められている。食事の際には、配膳や食器洗い、片づけ等、出来る範囲の事をお願いし、職員と一緒にやっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事量、水分量を記録しており、著しく低い場合や、少しの変化でも、看護師に報告するようにしています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアを実施し、清潔保持に努めています。また週に一度、歯科に往診に来ていただいています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄パターンを把握し、トイレ誘導をしています。また、オムツを使用されている方でも、日中はパンツの使用を試みる等、自立に向け支援をしています。</p>	<p>利用者の排泄パターンを把握し、出来るだけトイレでの排泄を促している。生活リハビリを通して、オムツからリハビリパンツ、ショーツへの移行を考え、自立に向けた支援に努められている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排泄チェックを行い、規定日数で排便が見られない場合は、下剤や座薬などを使用して、排便コントロールをしています。また、便秘予防の体操等も実施しています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴日や入浴時間など、個々の希望に応じて支援しています。また、入浴が難しい方には、職員全員で対応を考えて、時にはご家族様のご協力を得ています。</p>	<p>入浴時間は午前中で、週に2,3回入浴している。入浴時間に希望があれば、臨機応変に対応している。季節により入浴剤を使用し、楽しんで頂ける工夫もされている。又、入浴拒否の利用者への対応は、無理強いすることなく、足浴から誘導しながら対応されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	眠りたい時間に寝られるよう に、ご利用者のペースに合わせ ています。夜間は定期的な巡視 を行い、ご利用者さまに特変等 がないか確認しています。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	カルテや薬ボックスに、薬に付 いての説明が表示しています。何 の薬なのか？いつ飲んだら良い のか？などいつでも確認出来る ようにしています。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	洗濯物や掃除などの日常的な作 業や、貼り絵や歌などのレクリ エーションも実施しています。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。</p>	ご利用者様より、外出の希望 があった場合には、速やかにご 家族様と相談し、可能であれば 外出をしています。散髪や買い 物、ドライブや外食など、目的 は様々になっています。	施設の廻りは急勾配で、道路も 狭いため、買い物や四季に応じ ての見物等、外出は車で移動し ている。利用者からの外出の要 望があった場合は、家族と相談 し支援されている。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	ご利用者様による、金銭管理は しておらず、施設にてお預かり している金銭で、希望されるも のを購入するようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話連絡の際は、ご利用者様も一緒にお話をしたり、遠方のご家族様がおられる方は、手紙のやり取りもしておられます。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>お花や季節ごとの貼り絵、装飾品の設置、行事の写真などを掲示し、居心地良く過ごせるように工夫しています。</p>	<p>リビングは、通路等も広く取られており、利用者の動線に配慮したレイアウトになっている。壁面には、利用者の貼り絵等の作品や行事の写真が展示され、居心地の良い空間になっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>人と接するのが苦手な方などは、一番端の席に座られたりしています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご家族様からの昔の写真や、ご利用者様が当時使用されていたものを持ち込んでいただき、いつでも思い出せるよう、お部屋に飾る等して見ていただいています。</p>	<p>居室への持ち込みは自由で、出来る限り使い慣れた物を持ち込んで頂いている。居室内は家族の写真や置物など、生活感溢れる居室となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>手の不自由な方に、なるべく自走を促したり、トイレの自立が困難な方でもお手伝いするなどして、自立へ向けた取り組みをしています。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム長江

作成日 平成28年3月8日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議にご家族様が出席しておらず、地域の方、行政の方が中心になっている。	年6回の会議を開催する上で、その内3回は家族様にも参加して頂く。	ご家族様に運営推進会議への出席を声かけ、促しを行う。	12ヶ月
2	49	季節の行事以外、外出する機会が少ない。	定期的に外出する機会を設ける。	年間行事計画を作成して外出支援を行う。	12ヶ月
3	35	災害に備えた備蓄や、訓練の内容を強化する。	①備蓄品の整備をする。 ②訓練の内容を強化する。	①食料や水の確保、毛布の購入などを行い、備蓄品を事業所に保管する。 ②訓練に参加して下さる地域の方にも役割を与える。	12ヶ月
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。